

ゆりはま議会

第65号

令和2年2月1日 発行
発行:鳥取県湯梨浜町議会



移住定住者が増加

2

一般質問

7

入札やり直し

12

委員会視察報告

14

「ママ見て、ぼく回せたよ」

(あさひこども園 新年お楽しみ会)

令和元年第9回12月定例会

若者の移住定住が順調に増加中

令和元年12月定例会が、12月9日から18日まで開催されました。

今定例会に提案された令和元年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、30議案を原案のとおり可決、同意しました。

また、議員発議による国に提出する意見書2件も原案どおり可決しました。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ1億4542万円を追加し、補正後の予算の総額を105億3288万円とする。

若者世代の移住定住が増加

・若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
942万円

若者夫婦・子育て世代の住宅新築が、当初見込みの57戸を大幅に上回り、72戸に増加する模様。

若者世代の移住定住促進のために、増額するもの。

○羽合地域 10戸
○東郷地域 3戸
○泊地域 2戸

順調に増加するふるさと納税

・ふるさと湯梨浜応援基金事業
1億1207万円

バス路線の維持に向け

10月末現在の寄付額が、前年同月比プラス160%の1億5210万円と、大幅な伸びとなっている。

そのため、寄付額に応じた歳入・歳出の増額をするもの。

・地方路線バス維持事業
690万円

町内3路線で利用者の減少と、燃料費の増加などにより赤字となった。

今後、引き続き路線を維持するため、補助金の増額をするもの。

5地区へ防災関連で新規助成

・消防施設整備事業補助金
40万円

本年度は、すでに27地区の自主防災組織へ助成している。

新たに5地区（長江・門田・宇野・橋津・久留西）へ助成するもの。

磯なぎ分譲地2区画を販売

・湯梨浜町土地開発公社事業
1073万円

販売促進事業により2区画が販売できた。帳簿価格と販売価格との差額を補てんするため増額するもの。



徐々に進む分譲地の販売

条例改正

副町長を一人体制へ

☆湯梨浜町副町長の定数を定める条例等の一部を改正する条例

これまで副町長は二人体制で、うち一人は国が進める地方創生事業を担い、円滑に進むよう努めてきた。

同事業が一段落したことと、仙賀前副町長の退職を機に、一人体制に戻すもの。

役場の非正規職員の雇用形態を変更

☆湯梨浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

役場の正職員以外、臨時職員とパート職員などである。

その他

公共4施設を継続指定管理へ

☆指定管理者の指定

本年度で管理委託期限が満了する4施設を、前受託者へ引き続

令和2年度からは、勤務時間が7時間45分を基準に「フルタイム会計年度任用職員」と、「パートタイム会計年度任用職員」として雇用するもの。

き指定管理委託する。

期間は令和2年4月1日から5年間。

①湯梨浜町多目的温泉保養施設（龍鳳閣）
管理者

（財）ゆりはま温泉公社

②湯梨浜町立温泉ふれあい会館（ハワイゆたうん）
管理者

（財）ゆりはま温泉公社

③はわい温泉・東郷温泉観光案内所
管理者

はわい温泉・東郷温泉旅館組合

④とまりグラウンドゴルフのふる里公園
管理者

（株）ユウブ



指定管理期間が延長された龍鳳閣

旧羽合給食センターを有償貸し付け

☆財産（土地・建物）の貸付

地域産物の有効活用や、雇用拡大による地域活性化をはかるため、旧羽合給食センターの土地と建物を貸し付ける。

貸付の相手方

いなか食品（株）

土地貸付料

年額16万7441円

建物貸付料

無料

期間

令和2年2月1日から5年間。

水道料金回収不能

☆権利の放棄について（水道料金）

水道料金の未収金について、相続放棄、財産なし、所在および財産

人事案件

教育委員会委員及び教育長の人事案件に同意した。

（敬称略）

◇教育長

山田 直樹（園）

任期は、令和元年12

不明により、債権を回収できる見込みがないため、権利放棄する。

債務者は5人で、金額は2万1770円。

◇教育委員

青木 由紀子

（はわい温泉）

任期は、令和元年12

月25日から令和5年12

月24日まで。

宇野財産区管理委員の人事案件に同意した。

◇宇野財産区管理委員

伊藤 泰博（宇野）

任期は、令和2年12月26日まで。



有償貸し付けが決まった旧羽合給食センター

松崎駅南梨生産団地を視察 東郷ブランド梨の生産拡大に期待

☆令和元年12月16日、完成間近の、松崎駅南梨生産団地を視察した。

この事業は、栽培管理の省力化や、後継者不足の解消などをめざす。

事業費は約1.8億円で、国と県の補助を受け、町が主体となつて取り組んでいる。

松崎駅南側の水田約1.7ヘクタールを埋め立て、多目的果樹園を造成し、東郷梨の栽培面積の拡大をはかる。栽培指導などは、東郷果実部が行つた。



苗木の植え付けが終了

令和元年秋には造成工事が終わり、新甘泉1519本、王秋864本、おさゴールド二十世紀49本、交配樹16本など、合計2464本の苗木の植え付けも終了。かん水施設工事も、令和2年3月までに終了する予定。



松崎駅南生産団地は、新規就農者3軒を含む8軒の農家で栽培管理され、今後の生産量の拡大が期待される。
また、将来的にも観光農園として観光客誘致にも期待が持たれる。

利便性向上で利用者増を

☆バス路線（橋津線）のルートの一部変更する報告を受けた。

橋津線の一部を、信生病院や倉吉警察署の前を通るルートに変更。

4月から運行を開始する予定。

問 赤字補てんのため、補助金交付をこのまま続けていくのか。

答 路線の維持と確保に努めていきたい。

県は、充実策を実証実験している。

問 レークサイド・ヴィレッジの利便性のためにも、橋津・松



利用者増に期待

崎北方線をつなぐ新路線の要望があるが。

答 ドライバーの確保が困難。

既存路線と一体的に検討する必要がある。

気になる水道料金

☆令和元年11月19日に、第1回上下水道料金検討委員会が開催された。委員は8名で構成される。

問 料金の協議は、上下水道一緒に進めていくのか。

答 基本的には、一緒にしたい。

問 3月には報告書を提出するとあるが、何回委員会を開く予定なのか。

答 期間は短い、4回程度は開催したい。

こども園の給食運営に差異あり

☆以前より、ながせこども園と町営こども園との間で給食経費に差があり、メニューや量などへ影響を及ぼすという指摘があった。
調査の結果、町営こども園と、公設民営のながせこども園との間に、予算構成や運営方法などの違いから、差異が生じていたことが判明した。

問

給食経費に差が生じているのはなぜか。

答

町と社協では、予算の組み方が違

うので比較しにくい、委託料の中での人件費や、事業費などの部分が大きな割合を占めているため、差異が生じたのかもしれない。



元気に遊ぶ子どもたち

問

町内全8園を包括して入園決定する以上、子どもへのサービ

答

4月1日付の子どもの数に応じて委託しているため、この部分が圧迫しているのかもしれない。

ながせこども園では、

年度当初から保育士を確保しているが、町営では、年度中途で必要な保育士を雇用している。

精査・調整し、サービスが低下しないよう検討したい。

問

今後の対応方針は。

答

社協との連携に不十分なところがあった。来年度の予算要求に向けて連携を取り、町営の状況に近づくよう調整をはかりたい。

不登校者への支援を検討

☆令和元年11月末現在での、不登校状況の報告を受けた。

小学校で8人、中学校で17人、合計25人。

依然、不登校の児童・生徒数が高止まり状態となっている。

問

学校に行けない児童・生徒の受け皿である、フリースクールなどの利用者へ、補助金などの支援は。

答

総合福祉課が主管となり、教育総務課と連携し、助成に向けた検討を進めていきたい。

低調な敬老会

☆本年度の参加率は、わずかながら増加した。しかし、全町で19%の参加であり、依然低調な状況であった。

問

20%を切る状況で推移している中、来年度も続けるというが、何か打開策は検討しているのか。

答

要望が多かった、全席イスとテーブルを設置したが、参加率はあまり向上しなかった。
不参加者へアンケートを行ったが、特に理由は見当たらなかった。

令和元年度実績

地域名	対象者数	参加者数	参加率%	前年比%
東郷地域	1092	185	16.94	0.99
泊地域	528	116	21.97	0.72
羽合地域	1220	237	19.43	▲0.23
計	2840	538	18.94	0.4



町長より米寿のお祝い
(羽合地域敬老会)

陳 情 審 査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	不 採 択 (理由) 本町議会で判断すべき事項ではない。
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	継続審査
桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出について (陳情)	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
放送法における「受信設備の設置」概念の法に適合した運用について (陳情)	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)

本会議での採決結果

議案の内容 (○：賛成 ×：反対等)	寺地	浦木	上野	濱中	河田	増井	光井	松岡	米田	竹中	会見	結果
議案第133号 湯梨浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	賛成9人 可 決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

上記以外の議案は全会一致で可決及び同意しました。

町政を問う

12月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
竹中 寿健	①加齢性難聴者への補聴器購入助成を	7
上野 昭二	①防災マップの周知徹底と有効活用を	8
	②海面上昇リスクへの長期的対応は	
松岡 昭博	①水明荘をどうする	9
	②町がめざすまちづくりとは	
増井 久美	①給食の地産地消を	10
	②副食費の無償化へ	
米田 強美	①着地型観光の振興は	11
	②維持管理費の削減を	

加齢性難聴者への 補聴器購入助成を

町長

国の研究成果の動向を注視



たけなか とし たけ
竹中 寿健



きこえのバリアフリーを

【問】①加齢性難聴は、認知症のリスクが高く、社会参加でも障壁となっている。加齢性難聴と認知症のかかわり、因果関係など、どのような認識を持っているのか問う。
②障害者総合支援法によって補助されている方、加齢性難聴者の実態は。
③補聴器購入補助の要望がある。町独自の助成を前向きに検討する考えは。

【町長】①認知症には、加齢、高血圧、糖尿病、喫煙などいくつかの危険因子があり、難聴もその一つであると認識している。しかし、補聴器と認知症の関係は、まだ研究段階にあると思っている。
②障害者総合支援法により、本町で補聴器購入助成を受けている方は、11月末現在で39人、うち65歳以上は31人となっている。
③補聴器と認知症について、国の研究成果の動向などを注視し、公的な助成制度新設の要請、実施の検討も加えてみたい。

防災マップの周知徹底と有効活用を

町長

防災力強化に取り組む



上野 昭二

【問】台風19号により東北地方を中心に、河川決壊や氾濫など、大規模水害が発生した。

最近では災害危険レベル5はめずらしくなく、降水記録の更新や、想定外といったフリーズがあふれている。

本町では、平成31年3月に最新防災マップが全戸配布されたが、最新基準に沿った改訂版なのか問う。

被災者インタビューでは、多くの人が防災マップの内容は不認識という状況が報道されていた。本町での、町民の防災マップの認識実態と、避難へ向けた自覚はどうか、見解を問う。



台風19号で、のり面が崩壊した
尾後ノ鼻岬（小浜）

【町長】改訂した防災マップは、国が平成28年6月に公表した天神川洪水想定区域図と、県が平成30年6月に公表した東郷池の洪水想定区域図をもとに策定したもの。

防災マップの認識については、数年前から活動の講習を推進しているが、38地区が未実施となっている。今後は、積極的に声掛けをして推進していきたい。

避難については、平成30年9月の台風での避難者は96人で、1%にも満たない状況だった。今後、早めの避難行動の重要性を周知して、いっそう防災力強化に取り組んでいきたい。

海面上昇リスクへの長期的対応は

町長

住民と連携して推進する

【問】2019年9月に国連は、温暖化対策が進まなかった場合、2100年には海面水位が1・1メートル上昇すると全世界に公表し、警鐘を鳴らした。

世界的にこのまま活発な経済活動が続けば、あと50年もすれば海面上昇が目に見えて現実化する。

この問題は、単に一方自治体の問題ではないが、行政では、商法や民法が規定する「善管注意義務」を負っており、管理責任は免れないと考えるが所見を問う。

それを念頭に、町民への将来的リスクの長期ビジョンと姿勢を問う。



陸地面まであまり余裕がない現況（龍島）

【町長】国連サミットで採択された、国際目標Ⅱ※SDGsがある。本町でもSDGs推進会議を創設した。湯梨浜町版SDGs推進計画をまとめ、住民と連携して海面上昇を抑える行動を推進していきたい。

全国各地で相次ぐ自然災害にあたり、本町でもさらなる危機管理意識の醸成、リスクマネジメントの必要性を感じている。

中長期的には、地域の潜在リスクを把握し、その及ぼす影響を考慮して対策を検討するなどの対応が求められている。環境を守ると意識を持ちながら進めていきたい。

※SDGsとは、2015年に国連で採択。2030年までに達成する持続可能な開発目標。

水明荘をどうする

町長

特長を生かし堅実運営に努める



まつ 松 ひろ 博
あき 昭



経営改善中の水明荘

【問】水明荘は平成27年度に赤字決算となり、中小企業診断士協会に依頼し、3年間経営改善に取り組んできた。
しかし、目標の売上額3億円、減価償却前利益5000万円には届かなかったものの、町長はこのまま直営で向かいたいと表明された。
水明荘の経営改善結果をどのように考えているのか。

【町長】経営改善目標は未達成だが、この3年間はピーク時からの減少幅は小さい。本年度前半は、教育旅行などの宿泊者数が一定期間で増加し、成果を上げている。
経営を取り巻く環境的に、国内消費の縮小は、やむを得ないと考える。
ネットの口コミ評価では、風光明媚な景観や食事内容を評価する声が多い。
今後の運営については、施設の特長を生かし、温泉を重要な要素として、堅実な運営に努めていきたい。

【問】町は、まちづくりのキャッチフレーズ「みんなが主役笑顔あふれる湯梨浜町」の実現に向け、諸施策を実施しているが、町民の中から、健康や安全対策などについて、心配の声が聞こえてくる。
①町民の健康指導の現状をどのように考え、今後どうしようとしているのか。
②防災訓練では、なぜ防災マップの大津波を想定した訓練を行わなかったのか。

【町長】①生活習慣病や介護予防のために、運動習慣は大切な要素である。
昨年より「ゆりはまヘルシーくらぶ」を健康づくりの中核として進めている。
また、器具を使った運動は、龍鳳閣や、あやめ池スポーツセンターで実施している。

②本年度の防災訓練では、要援護者の安否確認など、不十分な部分があったと認識している。
次回は、本年度の反省を念頭に置き、取り組めるようにしたい。



健康づくりに汗を流す利用者
(龍鳳閣)

町長

町民の健康づくりを支援

町がめざすまちづくりとは

給食の地産地消を

教育長

今後も県産品利用に努力する



増井久美



地産地消に努力
(学校給食センター)

【問】平成31年4月より学校給食センターが一つに統一され、泊小学校を除く、小・中学校に配食されるようになった。大人数の給食を作ることもとなったが、地産地消、地元産・県内産で対応できているのか。

輸入小麦で作られたパンから、発がん性の疑いのある除草剤グリホサートが検出され、不安が広がっている。

県内には「大山小麦プロジェクト」があり、学校給食に安全な県産小麦を供給している。本町でも使用してはどうか。

【町長】こども園の地産地消率は、本年度4月から9月までは82%。ほぼ学校と同程度の地産地消率は確保している。

パンに使用する小麦は、カナダからの輸入小麦を使用している。

【教育長】今年度の湯梨浜町立学校給食センターの県産品利用率は、10月現在80%で県平均より高いと思われる。今後も引き続き関係機関と連携し、県産品利用、地産地消に努力していきたい。パンに使用する小麦は、国の食品衛生法の基準に合格しているアメリカ、カナダからの輸入小麦を使用している。

副食費の無償化へ

町長

他市町村の状況を

見ながら対応

【問】国は消費税を10%に引き上げる代償として、3〜5歳児の保育料を無償化した。

ただし、副食費を徴収するとし、月額4500円を徴収することになった。1カ月が経過したが、徴収事務が大変なのではないか。実情はどうか。

滞納分を児童手当から徴収する自治体もあるようだ。が、許されないことである。本町ではどうか。

全国でも県内でも、副食費を無償化にする自治体もある。本町でも、子育て支援として無償化してはどうか。



おいしい給食
(たじりこども園)

【町長】副食費の徴収については、どの園も月末までには集金が終了し、滞納につながるような案件は、現在発生していない。今後は、口座振替に変更するよう協議している。

児童手当法の規定により、現在、学校給食費や保育料などの支払いを、児童手当から充てておら

れる保護者もある。副食費も同じように、滞納が発生した場合は、申し出により児童手当から徴収していくようになる。副食費の無償化については、他市町村の次年度の状況を見ながら、国への働きかけも進めながら対応していきたい。

着地型観光の振興は

町長

新たな顧客開拓で利用者増へ



山田 康英

【問】地域の独自性を売りに、メジャーな観光地では味わえない体験を打ち出す、着地型観光が注目を集めている。

本町では近年、ドラゴンカヌーとグラウンド・ゴルフの体験学習による受け入れが増加している。

①このような教育旅行をどのように評価し、今後は推進していくのか問う。

②関係団体の連携が重要だが、現状はどうか。

【町長】①着地型観光は、その地ならではの魅力を生かした体験型観光形態として人気が高まっている。教育旅行用のパンフレットを作成するなど、売り込みにも力を入れ、平成30年度には778人の利用があった。さらなるPRに努め、新たな顧客を開拓し利用者増をはかりたい。

②観光案内所を事務所として旅館組合と共同利用し、年間を通じて観光案内を行っている。待遇については、観光協会の役員とも協議してみたい。



教育旅行で人気の
ドラゴンカヌー体験

維持管理費の削減を

町長

個別計画を策定し

計画的に更新

【問】急激な高齢化と人口減が始まっている。

水道事業のように、使う人が減り収入が減っても、維持管理費は管の老朽化もあり増大する。

①維持費削減の視点を、湯梨浜町総合計画にどのように反映するのか。

②町道の草刈りだが、年2回では間に合わず、交通安全の面でも問題のある箇所がある。

植栽の撤去もあわせて検討し、生えにくい状態に整備し、維持管理費の削減に努められたい。



雑草が交通のさまたげに（引地）

【町長】①公共施設の整備と維持管理を行うにあたっては、住民ニーズを踏まえながら、より効果的な公共施設の活用と、最適な規模での維持・更新という考え方が必要となる。

総合計画の中に「老朽施設・老朽管の計画的な更新を進める」と定めている。法令やガイドライ

ンに基づく個別の計画を策定し、計画性を持つて進める。

②住民の要望であるなら、積極的に取り組みたい。

※山田議員は、このほか「障がい者支援」について質問しました。

羽合第2放課後児童クラブ新築工事 入札やり直し 完成は6月あるいは7月に延期

12月9日全員協議会

羽合第2放課後児童クラブ新築工事の入札が12月2日に行われたが、落札業者が3月24日の工期に間に合わないと言ってきた。入札条件に工期を示しており、それを承諾の上で応札しているものであり、この業者に対して、12月6日付で落札決定の取り消しを行った。

工期の見直しを行い、一部設計を変更して改めて入札を行う。

工事の完成は、6月から7月になる見込みであるとの説明を受けた。



建設予定地
(ハワイアロハホール敷地内)

問

保護者へ開園が遅れることの周知徹底と了解をとっておくべきだ。

答

教育委員会を通じて、保護者の皆さんへ連絡する。

問

そういう業者に對しては、ペナルティを課すべきだと思う。請負業者、設計業者の両方を指導すべきだ。

答

適切な措置を取りたい。

10月18日 伯耆町を視察 官民連携による健康のまちづくり

遊休施設を活用

伯耆町では、既存施設の空きスペースを活用し、健康のまちづくりをめざしている。

町社会福祉協議会が指定管理者となつて「フィットネス&スタジopal」（旧岸本町施設）と、「みぞぐちテラス」（旧溝口町施設）を、民間会社と連携し運営している。

健康増進の場と、新たな雇用の創出につなげている。

施設の状況

旧岸本町施設には、本格的なトレーニング機器が設置しており、米子市からの利用客も多い。

旧溝口町施設には、トレーニング施設以外に、収入対策として簡易な仕事をするワーキングスペースを設置している。

両施設とも、利用状況は目標を上回っており、女性客が6〜7割を占めている。

お詫び

令和元年11月発行「ゆりはま議会第64号」の2ページの町債（借金）の残高の表中、増減額計に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

誤 ▲3億5783万円

正 3億5783万円

なお、ホームページは訂正済みです。

健康づくりに向けた環境整備

介護予防のためには、若年世代からの「運動習慣」が重要。

また、生活習慣は、取り巻く環境に大きな影響を受けるため、運動に気軽に取り組める環境を整えることが必要と感じた。



トレーニング施設にはインストラクターが常駐（みぞぐちテラス）

住民と議会の意見交換会を開催

～多くのご意見・提言を受け止めました～



東郷地域意見交換会（中央公民館）

7回目となる「住民と議会の意見交換会」を令和元年11月15日（泊地域）、19日（羽合地域）、22日（東郷地域）の3会場で行いました。

議会・町政に対して多くのご意見・提言をいただきました。

町行政に関するご意見・要望などは、町行政部局に回答を求め、議会として検討するものは委員会で協議し、その結果を今後、議会広報に掲載していきます。

お詫びと訂正

意見交換会で、総務産業常任委員会から報告した次の3項目の内容について、訂正させていただき、お詫び申し上げます。

①定置網漁の導入と「とまり朝市」の開催について

4月から11月の毎週火曜日と土曜日の朝開催していますが、9月と10月は台風の影響で出漁できず、中止していたと報告しました。他の議員から11月も網が上がっていて中止していたと発言がありましたが、11月は平常通り営業をしていました。

②水道の漏水の連絡方法について

異常があった場合は、検針員が発行する検針票に、「水道業者に相談をし対処してください」とメモ

が記される。上水道料金は、一般的には減免はないが、下水道料金は一定の減免があることを報告しました。

その後、議員側から町からの通知があるなどの発言がありました。ただし、通知は検針後10日程度後になります。

漏水の発見が遅くなり住民の方の負担が多くなりますので、検針票の確認は、早く行っていただくようお願いします。

③新水源地について

埴見地区では水量不足のため断念。東郷川水系での調査も水量不足のため断念したと報告しました。

実際は、現在も利用している東郷地区の水源地で対応することを調査中です。

ご意見を受けて 湯梨浜中学校を視察

羽合地域での意見交換会の中で、4月に開校した湯梨浜中学校で、屋内にある部室やトイレなどで、カビの発生などの問題点があるとの意見がありました。

問題の状況を把握するため、教育民生常任委員会は、12月3日に湯梨浜中学校の現地視察を行い、教育委員会と学校の担当者より、問題への対応状況について説明を受けました。

視察後は委員から、教育委員会は保護者へ丁寧な説明が必要との意見が出されました。



委員による問題点の確認

新規就農の新たなモデルを構築

ありだ
和歌山県有田市

視察テーマは、新規就農が成功している所。関係機関に問い合わせ、みかんで有名な有田市を訪ねた。

太陽と海と果実のまち

有田市は、総面積37km²、人口は3万人弱。

基幹産業である「有田みかん」は、江戸時代から約450年の歴史を持つブランド。しかし、近年の農家は元気がなく、将来を案じているという厳しい環境で、農業を持続的に発展させられるかが、大きな課題となっていた。

(株)リクルートと連携

リクルートと有田市は、2017年3月に地域振興を目的とした包括連携協定を締結。プロジェクトを立ち上げ、2年間にわたって実証実験を展開。その取り組みの成果を踏まえ、新規就農の支援プログラムを新たに立ち上げた。

初年度から一定の収入

農地提供者、受け入れ農家、新規就農者のトライアングルマッチングで、三者の課題を解決。価値ある土地と農家の誇りが未来に残り、それぞれがメリットを享受することにつながっている。

みかん農業では、国の農業次世代人材事業で対応しているが、研修期間中は所得がな

く、市独自に150万円を支給。同時に生産・販売の指導を受ける単市事業を創設。初年度からでも一定の収入が見込まれ、就農に大いに役立っている。

市役所内に「有田みかん課みかん農政係」があり、担当者が農家一軒一軒聞き取り調査をし、農地拡大や就農ニーズを掘り起こすなど、産地や商品価値の維持向上につなげており、農家と農政に対する本気度と、熱き思いに感銘を受けた。



「子どもを育てるような気持ちで育てています」
みかん作りに励む新規就農者

地域の魅力を創り出す

かいなん しもつ
和歌山県海南市下津町

地区の魅力発見と地域活性化をめざす有志グループ「げんき大崎」の取り組みを視察。

和歌山のエーゲ海

海南市下津町大崎は、県庁所在地の和歌山市から車で40分。穏やかで美しい海を持つ人口467人、戸数203戸の過疎化の進む港地区。

地区の魅力発見と、地域活性化をめざす有志グループ「げんき大崎」が平成19年に発足。

平成26年には、総務省の過疎集落等自立再生対策事業に採択され、「地域の魅力を創り出す！げんき大崎プロジェクト」をかかげて、地区外の方々と交流と、区民の助け合いをめざした地域づくり・情報発信に取り組んでいる。



「げんき大崎」のメンバーから活動報告

持続可能な地域への挑戦

人口減少など、厳しい将来予測のなか「げんき大崎館」を「コミュニティ拠点として、鮮魚、惣菜、野菜なども販売。他にもフカメ摘み、レモン狩りなどを体験する観光事業が、交流人口の拡大につながり、過疎化対策として有効な取り組みであると感じた。しかし、組織維持に関し

ては高齢化しており、財源も行政に頼らず、再生資源の売却、イベントの参加費などの自主財源で運営しており、大変厳しい状況にある。ただ、その活動は、「持続可能な地区であり続ける努力を、こつこつと積み上げる」とを使命と感じておられ、本町でも多くの見習うべき点があった。

ICTで保育士の業務改善へ 兵庫県神戸市

神戸市では全国にさきがけ、保育所と家庭との間をICTネットワーク化により、相互の情報伝達と共有化を昨年からの試験的に実施していた。

視察のねらい

本町のことも園運営にあたり、神戸市と同様に、数多くの問題や課題を抱えている。特化するべき点は、数年前より叫ばれている「深刻な保育士不足」があげられる。それを補うために、少数精鋭の保育士による、保育サービスの保証と向上をはかるための手段として、ICT導入の現状を調査する。

ICT導入の経緯

導入前の保育所では、数多くのさまざまな問題点や課題があり、保育サービスを圧迫し、家庭ニーズに十分応えられていなかった。

保育所運営上の課題

①家庭と保育士、保育士間の情報伝達が、口頭伝達と紙

(メモ)が中心であり、確実な伝達に向けての準備・確認に多くの時間が必要。

②園児の機密情報すべてを紙媒体で管理しており、各種文書の保管が業務場所を圧迫。また、過去記録の抽出に時間を要する。

③保育士の事務負担が多く、園児一人一人に向き合う時間確保が困難。

ソフト機能と検証

①保育サービスの向上
保護者アプリの活用で、欠席連絡が容易。

②保育士の負担軽減
欠席連絡の電話対応が不要で、職員間の情報伝達がスムーズになり業務に集中できる。

③保育士の質の向上
園児の体調などに関する連絡が、簡単にスムーズにできる。慣れるまでが課題。



保護者から好評価

- 出欠・遅刻の連絡
- ・スマホ通信で簡単
- ・いつでも連絡可能
- 身体測定
- ・身長体重が確認可能
- ・過去のデータも閲覧
- カレンダー機能
- ・行事予定が確認可能

視察のまとめ

2園でのモデル試行だったが、保育士と保護者で好評価だった。今後は、各種操作に慣れるまでが課題。

あじ 庵治支援隊で高齢者サポート

香川県高松市庵治町

平成18年1月に高松市との合併後、人口減少が進み、さまざまな課題に直面していた。そこで平成28年10月、社会福祉協議会を中心に「訪問型サービスB」を活用した庵治支援隊を結成し、高齢者の生活支援サポートを開始した。

視察のねらい

本町においても一部地域を除き、高齢化と人口減少が進み、社会問題化している。特に高齢者の買い物や通院などの移動手段や、日常生活への不安解消が課題である。そこで、庵治町の取り組みを調査する。

支援隊の状況

- ①支援隊の組織構成
- ・養成研修を1日受講すれば登録証交付。
- ・50代から80代の男女29人が所属。
- ・サービス1回につき3000円の報酬。
- ②利用者を限定
- ・町内65歳以上の住民
- ・要支援1・2認定者
- ・ケアマネ審査合格者



- ③サービス利用者
- ・サービス提供者1人につき100円。(ただし60分以内)
- ・1カ月で5回までの利用制限。

サービスメニュー

- 支援隊発足当初は3項目の支援だったが、新メニューを追加。
- (1)ゴミ出し
- (2)草抜き
- (3)買い物
- (新)落ち葉拾い
- (新)家周辺の整理整頓

サービス利用実績 (H28年度は半年間の実績)

項目	H28年度	H29年度	H30年度
ゴミ出し	4	39	123
草抜き	10	82	88
買い物	9	43	37
落ち葉拾い	0	0	4
周辺の整理整頓	0	0	2
利用件数計	23	164	254

問題点と課題

- ①サービス提供者と利用者の年齢に差がないため、提供者に心理的葛藤の問題がある。
- ②低額報酬のわりに、肉体的負担が大きい。
- ③提供者の高齢化と人員不足で、多忙を極めている。

視察のまとめ

支援報酬が低額で、スタッフの高齢化と不足により多忙の状態。今後は、持続可能な活動へ、早期改善が求められる。

町民インタビュー

「子どもたちはふる里の宝!!」

木工木工隊 お世話係
あたらし かっひこ
新 勝彦さん（橋津）



木工木工隊のお世話係をしています。新といいます。

「木工木工」とは、ハワイ語で「なかま」・「友だち」の意味合いがあります。

羽合小学校が統合した1年前から小学校保護者を中心にした、「木工木工隊＝おやじの会」を立ち上げ、発足当初から東郷湖一斉清掃、羽合小学校卒業式前玄関清掃活動に参加、子育て応援フェスタ、湯梨浜町民会議お手伝いと、「環境」と「科学」そして「交流」をテーマに子どもたちに多くの体験の「場」、出会いの「場」のお手伝いをしてきました。

このような活動を通して思うことは、今私たち大人が、子どもたちのための「場づくり」を、汗しても提供していく必要があると思います。

なぜなら、20年近く木工、木工と言いながら活動していると、子どもたちは「あ・そ・び」を通してふる里を感じ

るようになります。ふる里を感じた子どもたちには、自然と「優しい心」が育ちます。「優しい心」をはぐくんだ子どもたちは「たくましい心」だけではなく「賢さ」も自然と育みます。そんなことを考えて活動していると、同じような想いを持った人たちとつながります。

今年は、シャボン玉おじさん、バルーンピエロのおじさん、そして木工木工おやじで、「何か楽しいことができたかな」と考えています。

ぜひ、応援してください。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

令和初めての正月を迎え、東京五輪・パラリンピックイヤーが開幕。夏に向け、今から高揚感を持つ方も多いのではと思います。

さて、2020年に目標としていたプライマリーバランスの黒字化もほとんど延期し、国の借金はいくらも一方。東京一極集中の是正も目標が延期。せめて自分自身の課題は、先延ばしにしないようにと肝に銘じるところです。

昨年も、大きな自然災害が頻発しました。本年が穏やかで、皆さまにとって実りある2020年になることを祈っております。

（記 米田）

【編集】

議会広報常任委員会